

2023  
3・20

月4回  
月曜日発行

第1286号

# 週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03(3543)7421  
FAX 03(3543)5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

当社では、その名も「倉庫リノベーション」というウェブサイトを運営しています。これまで分散していた倉庫リノベーションのオフィスとロボットによるコラムなどを掲載。倉庫の面白さやかかるコストを感じてもらい、倉庫のファンを増やしていく組みです。

当社では、その名も「倉庫リノベーション」というウェブサイトを運営しています。これまで分散していた倉庫リノベーションのオフィスとロボットによるコラムなどを掲載。倉庫の面白さやかかるコストを感じてもらい、倉庫のファンを増やしていく組みです。

## 第58回「取材で気づく、倉庫の可能性」

いくつのコンテンツがあるなかで、私が直接関わることが多いのが「アカイフ」という「アカイフ」というコンテナをリノベーションした物件を取材し、そこを使っている方やオーナーの話

当社では、その名も「倉庫リノベーション」というウェブサイトを運営しています。これまで分散していた倉庫リノベーションのオフィスとロボットによるコラムなどを掲載。倉庫の面白さやかかるコストを感じてもらい、倉庫のファンを増やしていく組みです。

## ソーコに学ぶ ビル経営



I-Soko Comprehensive Research Institute  
代表取締役 出村 葵希子  
奈良女子大学大学院修了後CM会社を経て現職。一级建築士、宅建士。「倉庫ドクター」として建築面からオーナー支援に取り組む。

をお聞きして、倉庫の魅力をお伝えします。レンガ造りの趣向で、2階建ての建物のなかで、最近の照明などと相まって、落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

大人数でも利用可能な大型テーブル・スツールが置かれたカウンターライフを用意。完全個室のレンタルルームまで完備しています。

倉庫には、広さと雰囲気、構造的な改装のしやすさや、比較的低廉な賃料といった実利的なメリットがあります。いわば商物一体型のオフィスを倉庫ビルに集約するという事例です。いわば商業施設も感じさせるリノベーションです。まさに、地域性や歴史の重層性も感じさせるリノベーションです。まさに、倉庫の特徴を生かすことができる、石造りやレンガ造りの石造りやレンガ造りの霧氷がある倉庫がまだまだ残っているといい、今後も出店候補地として検討していくべきです。

これまでさまざまに倉庫リノベーションに関わり目にしてきましたが、今でも取材するたびに新しい発見や気づきがあります。倉庫リノベーションのバリエーションは尽きることはありません。今後も多様な使われ方を探求し、キュレーションして発信していくたい

構築したサイトで、倉庫リノベーションの事例を中心に、物流や建築、まちなみを掲載。倉庫の面白さやかかるコストを感じてもらい、倉庫のファンを増やしていく組みです。

同じく最近取材

した「宮田屋珈琲」さんは、札幌市周辺に9店舗を開業する喫茶店です。東苗穂店は元たまねぎ倉庫、大麻店は元廻舎など、築年数を重ねた建物をリノベーションして活用しています。な